運営方針会議議事要録

１　日　付　２０２５年3月２５日（火）

２　場　所　Ｗｅｂ会議

３　出席者　冨永総長

青木　尾崎　帯野　境田　東　宮田　Price　Favre　各委員

（陪席）

植木理事　伊豆副学長　米澤総長特別補佐

福田　田口　各監事

（事務局）

谷口事務機構長、阿部総務企画部長、菅原総務企画部次長、

古川総務課長

４　欠席者　なし

５　議　事

○　前回運営方針会議（２０２５年1月２４日）議事要録（案）の確認

東議長から資料に基づき、上記議事要録（案）の可否について諮り、これを承認した。

○　議　事

（1）新運営体制

冨永総長から資料に基づき、２０２５年４月からの新運営体制について説明があった。

（2）２０２５年度予算

冨永総長から本議題については副学長（経営基盤強化・財務管理担当）から説明することとしたい旨の発言があり、この申出を認め、伊豆副学長から資料に基づき、２０２５年度予算について説明があった後、諮り、原案どおりこれを議決した。

（3）国際卓越研究大学：体制強化計画の進捗状況

冨永総長及び青木委員から資料に基づき、国際卓越研究大学研究等体制強化計画の進捗状況について説明があった。なお、運営方針委員からあった意見の概要は次のとおり。

・ＨＣＭ室の設置など人材獲得に向けた戦略に賛同する。東北大学が広く認知され、優秀な人材が集まってくることに期待している。また、研究から生まれる論文の影響力こそが、大学の評判や世界へのインパクトを生み出す本質的な原動力であることからオープンアクセスの取組も積極的に進めていただきたい。

・この１年間は非常に貴重な機会であることから、研究者ネットワークだけでなく、大学レベルでの働きかけも含めて迅速かつグローバルに取組を進めていただきたい。

・デジタル関連分野における人材の育成や産業の成長にも積極的に貢献いただきたい。

・人材の獲得についてはスピード感が大切である。また、学生に対する教育の高度化についても重要である。
・教育・研究においてゴールやＫＰＩの設定が難しいことは認識しているが、できる限りそれを明確にしながら計画を進めていただきたい。
・国際卓越研究大学として東北大学が目に見えて変わっていくというインパクトを学内外に常に与えていっていただきたい。

以 上